

魔法のプロジェクト 活動報告書

報告者氏名： 田中 勤子 所属： 広島市立己斐上中学校 記録日：2023年 2月 24日
キーワード： 不登校 メールによるコミュニケーション

【対象生徒の情報】

- ・学年 中学3年
- ・障害名 社交不安症 選択性緘黙
- ・障害と困難の内容 不安と緊張が高く不登校状態

【活動目的】

- ・当初のねらい
 - (1) 他者とつながる喜びを持つ。
 - (2) 安心をひろげる。
 - (3) 生活の楽しみを増やす。
- ・実施期間
2022年4月から 2023年2月
- ・実施者と対象生徒の関係
田中 勤子(専任特別支援教育コーディネーター)
掛江 美穂(担任)
西川 和子(特別支援教育コーディネーター)

【活動内容と対象生徒の変化】

○対象生徒の事前の状況

- ・通常学級に在籍
- ・緊張や不安が強く、初めてのことが苦手で、人や場所、活動に慣れるまで時間がかかる。他者の視線が自分に向くと緊張が高まる様子が見られ、思うようにコミュニケーションが取れない。
- ・家庭環境
母親が仕事をしているので、日中は祖母と過ごしている。学校には祖母の車で来ている。妹(小5)も不登校で本人と一緒に行動していることが多い。
- ・小学校時の登校状況
 - (小学校1年生)
登校しぶりがあり、「ふれあいひろば」の指導員や養護教諭が家まで迎えに行っていた。
 - (小学校3年生)
冬休み明けから教室に入れず保健室登校していたが、2月頃不登校状態になる。
 - (小学校4年生)
秋、一旦クラスに入れるようになったが、冬から再び不登校状態になる。
 - (小学校6年生)
ふれあいひろばに登校していたが、11月頃調子が悪くなり、登校後、教室に入らず車の中で過ごす。
 - (中学校1年生)
週に2回ふれあいひろばに登校し、その他の日は「Zoom」で学校と家庭を繋いでいた。6月から11月は毎日、ふれあいひろばの教室内で過ごす。12月以降、教室には入れず、車の中で宿題を交換した。

(中学校 2 年生)

妹を小学校に送り、妹と離れて祖母と車で登校した。車から降りられない状態は続く。車の中での簡単な会話はできたが、言葉を発することが減っていった。11月以降、妹も小学校で車から降りられなくなり、再び中学校と一緒に登校した。

・興味関心、得意なこと

イラストを描くのが得意で、美術部に所属している。家庭ではゲームをして過ごす時間も多し。

・学習について

小学校の時は近所の友達が宿題と連絡ノートを持って帰ってくれ、友達の家に行き、宿題は母親と一緒に取り組んでいた。中学校に入っても家庭で母親と一緒に毎日学習に取り組み、取り組んだ教材を学校に持ってきていた。付箋にコメントを書いてやりとりすることが継続できている。

漢字を書く課題には抵抗なく取り組むことができる。文章の読解や作文は苦手である。

・友人関係

友達と関わりたい気持ちは強い。仲の良い友達が数人いたが、今は友達が家に訪ねてきても緊張が高まって会うことを拒否している。

○活動の具体的な内容

(1) 他者とつながる喜びを持つ

- ・メールのやり取りを行う

本人の意思を確認しながら、メールのやり取りを行った。イラストの交換やスタンプのやり取りから始め、何かを伝えたい気持ち、伝わる喜びや安心感が膨らむようにした。

- ・家族とのコミュニケーションの手段を増やす

対象生徒は、アプリ「しゃべり描き」を中1の時から気に入って使っている。イラストを妹と一緒に描く時にも使っているようであった。入力した文字が音声化されたり、音声を文字化して楽しんだりしながら、コミュニケーションのツールとして使った。

(2) 安心を広げる

- ・家庭訪問

安心できる場所でその場と時間を共有する。今年度、コーディネーターが定期的に家庭訪問し、対象生徒が安心できる場所で、本人の自発的な動きを引き出すような関わりを行なった。

(3) 生活の楽しみを増やす

- ・動画編集をして楽しむ

イラストを描いている様子を画面録画し、それを使って動画の加工を行った。また、アプリ「ibisPaint」を使ってイラスト作成を楽しみ、その描画の様子も画面録画して利用した。

- ・外出の機会をつくる

対象生徒とメールでやり取りしながら目的地を決め、実現できるように計画・準備を行なった。「アニメイト」でグッズを購入するという目的を持ち、実現させるための準備を進めた。

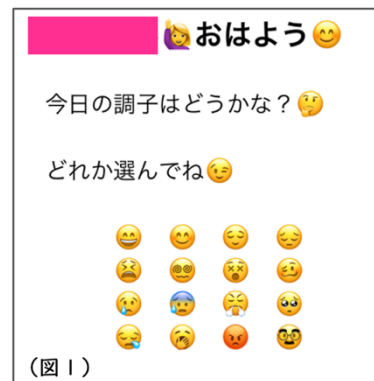
○対象生徒の事後の変化

(1) 他者とつながる喜びを持つ

- ・メールのやり取りを行う

1年時にもメールのやり取りを行っていたが、コンスタントに登校し車内でのコミュニケーションが続けてきたので、メールのやり取りは中断していた。今年度、6月、ポップコーンの皮が喉に引っかかったことが原因で嚥下に不安を感じ始め、食欲の低下から体調不良を起こしたため、登校が難しくなった。そこで、7月からメールでのやり取りを復活させ、遠隔でのコミュニケーションを図った。

最初は、図1のように、その日のコンディション尋ね、スタンプから選んで返信できるようにした。対象生徒は、スタンプを選び、「今日は😊です。」と返すことができた。



(図1)



(図2)

ができた。

その後、描いたイラストのやり取りや好きな音楽(今聴いている曲)などをメールで話せるようになった。図2はコーディネーターが対象生徒に送ったメールである。対象生徒は感想を返したり、また、自分で描いたイラストを送ってみせたりすることができた(図3)。

そして、徐々に返信の内容や文字数にも変化が見られた。簡単な返事や挨拶から、自分の気持ちを伝えることができるようになっていった。妹が宿泊学習に参加している時に「最初は大丈夫と思っていたんですけど、一日妹がいないだけで、こんなに寂しいんだな

あとと思いました。」と、初めて自分の気持ちを伝えることができた。

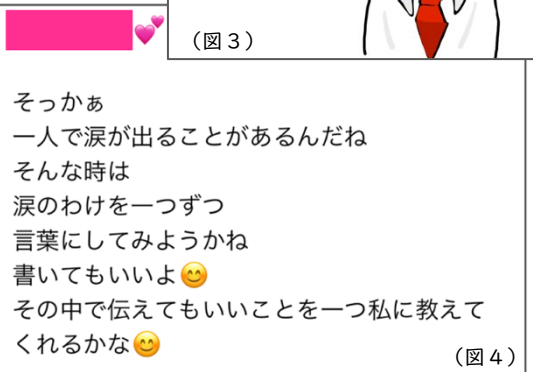
10月、進路先を決めるために、学校見学を行なった。勇気を出して実際に学校を訪れて見学することができたが、その後、卒業後の生活への不安が高まったためか、自室で過ごすことが増えた。気持ちが落ち込んだり、イライラする気持ちを家族にぶつけることもあった。

そこで、メールのやり取りの中で、自分の気持ちを言葉にしてみようかと送った(図4)。それに対して、驚くほど自分の気持ちを文章で書き伝えてきた。

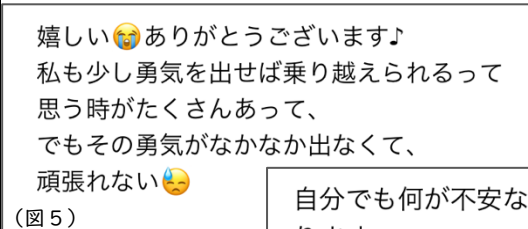
勇気が出せず頑張れないという気持ち、人と話すことに苦手感を持っていること、言葉にするのが難しく緊張する様子など、今の自分と向き合う中で抱える不安や葛藤をメールにして伝えることができた(図5・図6・図7)。



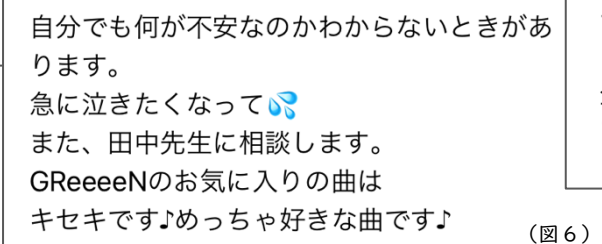
(図3)



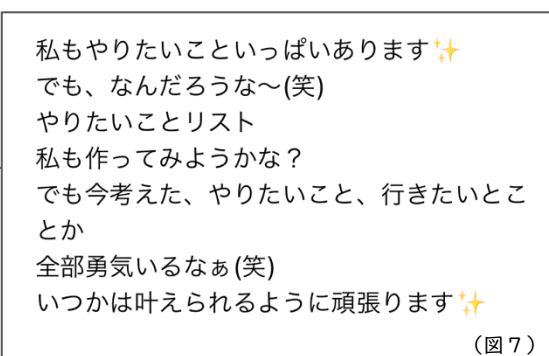
(図4)



(図5)



(図6)



(図7)

11月に入り、対象生徒に確認しながら、メール交換の相手を増やした。担任、学年コーディネーター、生徒指導担当ともメールのやり取りが始まった。好きな食べ物やゲームの話、プロ野球の話など、メールのやり取りを楽しんでいる様子が見られた。

- ・ 家族とのコミュニケーションの手段を増やす

12月頃から、教員とのメールのやり取りだけでなく、母親にもメールで気持ちを伝えるようになった。気持ちが落ち込んだ時にも、自分の感じていることや思っていることを書き伝えることができるようになった。今まで、自分の心情をこのように詳しく伝えることがなかったが、伝える術を得て、自分から伝え、わかってもらおうと行動するようになった。

(2) 安心を広げる

- ・ 家庭訪問

4月から、週に一度、コーディネーターが家庭訪問を始めた。対象生徒はリビングで一緒に動画を観たり、自分の描いたイラストを見せてくれるなどの自発的な動きを見せていた。しかし、6月に体調を崩したため、定期的な訪問は継続できなかった。

(3) 生活の楽しみを増やす

- ・ 動画編集をして楽しむ

9月、右のようなメールを対象生徒に送り、イラストを描く様子を画面録画するように勧めてみた。対象生徒はすぐに画面録画の仕方を尋ね、イラストの描き方を動画にして送ってきてくれた。(図1)

その後、画面録画したイラストを加工して、母親と一緒に野外活動に参加している妹に応援メッセージ動画を送った。

また、アプリ「ibisPaint」でイラストを描くことも増えた様子で、そのアプリ内にある画面録画の機能を自分で見つけて動画を作り、「イラストの描き方」を送ってくれることもあった(図2)。

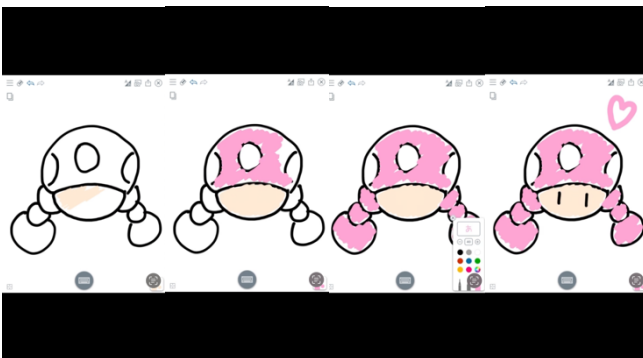
また描いてみた

どうも私が描くとかわいくないなあ(笑)
どこから描くの?
顔?頭?



うんうん

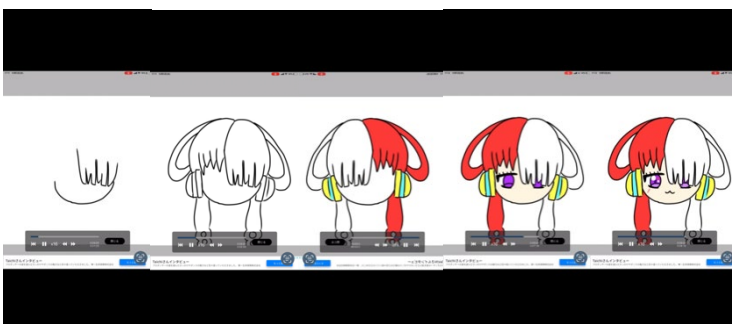
今度ね
画面録画しながら描いてみてくれるとう
いなあ
のキノビコ大好き♡



(図1)

、すご〜い👍👍👍

かんぺきじゃあ〜👍👍👍
すご〜い!!これわかりやすいね〜👍
の線綺麗だなあ💖
顔ははだ色を先に塗るのね〜👍



(図2)

・外出の機会をつくる

メールのやり取りの中で、「行ってみたいところ」を話題にした(図1)。行ってみたいところを伝えると、対象生徒からもアニメイトに行きたいと返事が返ってきた。以前にもアニメイトの話題を出し感触を探ってみたが、とても反応が良かったので、早速「アニメイト行き」を実現させるために準備を進めた。

メールで、アニメイトの写真(図2)や集合場所(図3)、当日のタイムスケジュールを送り、直前まで母親と連絡を取り合いながら現地で待ち合わせをした。

「やりたいことも行きたいところもたくさんあるのに、あと少し勇気が出ない」とメールで話す対象生徒であったが、前日、不安が増して調子を崩していないかとメールで尋ねると、「ドキドキをワクワクに変えます😊」と、前向きな返事が返ってきた。

当日はあいにくの雨だったが、予定通りに集合し、アニメイトでの買い

行ってみたいところ

の行ってみたいところはどこ？

私は北海道かな
大きな蟹の足🦀食べてみたい
たらば蟹っていうのかなあ

広島では
どこかなあ

そうそう
前も言ったけど、アニメイトに と一緒に行きたいわあ
それからスタバに行って
フラベチーノを一緒に飲みたい
ゲーセンにも一緒に行きたい
も誘って
フルーツサンドも一緒に食べたい
いちご🍓がいっぱい入ってるやつ

(図1)

物を楽しむことができた(図4)。



(図2)

(図3)



(図4)

【報告者の気づきとエビデンス】

・自分の気持ちを言語化できるようになる

一昨年にもメールのやり取りを行っていたが、その頃は、返信を返す時、母親や祖母にどう返したらいいかを聞きながら返事を打つことが多かった。今年度のメールは、保護者を頼らず自分の言葉で返してきていたことを、祖母からお聞きした。以前は一文程度の内容であったが、最近は日々の自分の気持ちを文章で表現できるようになっている。どうして不安定になっているかを自己分析して伝えることもできるようになってきた。

家庭でも母親に対して、「伝えたいことがあります・・・」と、自分の気持ちをメールで伝えている。葛藤する気持ちを伝え、どのようにして乗り越えていくかを一緒に考え行動できるようになってきたとお聞きしている。今まで抱えていた掴みどころのない不安や悲しみを、メールを打つことを通して一つひとつ整理しながら分析できるようになってきたのではないかと考える。

・メールを自分のコミュニケーションの手段として使えるようになる

右表は今年度対象生徒と教員がやり取りしたメールの総数である。趣味の話やグルメの話など話題も広がり、メールのやり取りを楽しむ様子が見られた。

自分からメールを送ることはなかったが、受け取ったメールに対して、自分で判

教員からのメール送信の数	247通
対象生徒からのメール返信の数	218通

断し、内容を考えて返事を返すことができた。「自分から話すのができない、人と話すのが苦手だ」と伝えていた対象生徒が、「メールだと伝えやすいです」と思えるようになり、メールのやり取りが一つのコミュニケーション手段として定着したと感じられた。

やっぱり私は人と話したりするのは苦手かな
💧
自分から話すのが出来ない、相手の方からじゃないと...
言葉にするのも難しくて、緊張したりします。

そうですね、ありがとうございます🌟🌟
メールだと伝えやすいです🌟🌟

・外出への抵抗感が軽減される

今年度、家族で外出していても気分が悪くなることもあり、外出することを避けるようになっていた。アニメイトへの外出がきっかけとなり、その後、外出への抵抗がなくなってきたと、保護者から報告をいただいた。証明写真の撮影、歯科の治療など、今まで拒んでいたことにも挑戦できるようになったとのことだった。

予期しない事象への対応が苦手なのではないかと仮定し、事前にしっかりと見通しが持てるように連絡したことで、外出を不安なく楽しめ、それが自信につながったのではないかと考える。また、買い物を楽しめた経験が、外出に対するイメージを変えたのではないかと考える。

・人とつながる喜びを感じられる

対象生徒は、メールのやり取りの中で、家族以外の人に心を開きながら自分の思いを伝えることができるようになり、その心地良さや楽しさを感じる事ができたのではないと思う。

進路先の説明会に参加した際には、これからつながることになる担当の先生に、好きなキャラクターのキーホルダーを見せようと、自分からそれを持って家を出た。次の場所でも、そこにいる人と関係を構築し、つながりをつくっていかうとしている前向きさが嬉しい。人とつながりながら、安心を膨らませて、日々の生活を楽しんでほしいと心から願う。

ありがとうございます😊
嬉しくてずっと泣いています💧
私も田中先生のこと
大好きです🌟

iPadから送信

2022/10/27 17:28、

_____のメール:

全然ダメじゃないからね😊
何もできなくてダメだなんて思わなくていいんよ
大人になる階段を大きく一つ登ってて
悩みながら、自分と闘いながら登ってて
それって
普通に当たり前に何も悩まず過ごしてる人よりも
よほどすごいと思うんよ
すごく大事な時間を過ごしてる

ありがとう🌟
今は田中先生たちにたくさん支えてもらっています。
いつかちゃんとお返ししたいなって。
みんなの助けがなかったら
今本当に元気でいられて
なかったかもしれません。
本当にありがとうございます🌟🌟

田中先生は私の心を支えてくれる人。
道具じゃないけど、大切な人です😊

iPadから送信

2022/11/10 16:49、

_____のメール:

私に作れる秘密道具ないかなあ?😊